

株主・投資家の皆さまへ

皆さまには、日頃から格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

2012年3月期のが国経済は、本格的な景気回復基調には至らぬまま推移いたしました。設備投資抑制の流れを受け、企業のIT投資に対する考え方も「所有」から「利用」へ大きく変化しはじめております。

このような事業環境のなかで当社グループは、中期経営計画達成に向けた事業の推進とパナソニックグループ事業再編に向けたITシステム改編に重点的に取り組みました。また、コスト抑制や業務効率化など、経営体質の改善についても継続的に推進いたしました。

その結果、2012年3月期は7年ぶりの増収と5年ぶりの営業増益を達成することができました。

国内景気の先行きには慎重な姿勢が根強く、企業のIT投資もその影響を受けるものと予測されます。厳しい事業環境が続きますが、当社グループは環境の変化に柔軟に対応しながら、中期経営計画達成に向けた取り組みをより強力で進めてまいります。

IR活動につきましても、株主・投資家の皆さまに当社の事業活動を十分ご理解していただけるよう、情報発信のさらなる充実を図り、企業価値の向上と適正な株価形成に努めていく所存です。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



2012年4月

代表取締役社長 前川 一博